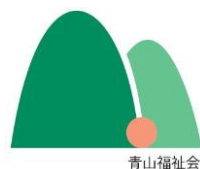


# 事業報告

【施設概要】

(平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日)

社会福祉法人 青山福社会



介護老人福祉施設 「特別養護老人ホーム森の里」(従来型・木精館)  
介護老人福祉施設 「特別養護老人ホームいがの里」  
短期入所生活介護事業所 「森の里」  
短期入所生活介護事業所 「いがの里」  
認知症対応型共同生活介護事業所 「グループホーム森の里」  
通所介護事業所 「デイサービスセンターあおやま森の里」  
通所介護事業所 「デイサービスセンターあおやま百々」  
居宅介護支援事業所 「あおやま」  
地域支援事業

## 【平成30年度社会福祉法人青山福社会事業状況報告】

平成30年度の介護報酬改定は、全体で0.54%のプラス改定であったが、利益率の高い通所介護はマイナス改定とされた。その影響を受けてデイサービスセンターあおやま百々は大幅な減収になったほか、特別養護老人ホームにおいても、自立支援、重度化防止が重視されたことから、その体制を整えるための人材が必要とされたが加算取得の要件を具備できないこともあり、プラス改定の効果が表れない結果となった。

こうした情勢下にあって、介護人材の不足は依然として解消せず、森の里ショートステイでは利用者の受け入れを制限したほか、グループホームでは1ユニット休止を余儀なくされるに至った。

その結果として平成30年度介護保険事業収入が減収になり、全体として約1300万円の赤字決算となっている。

こうしたことから、理事会、評議員会において、平成31年度（令和元年度）から各事業部門がフル稼働できる体制を整備するための法人財政健全化計画を策定したところである。

また、人材確保の取り組みとして外国人技能実習生を受け入れたほか、三重県介護助手事業を導入し、介護周辺業務充実することにより介護職の専門性の向上を図ることが出来た。

なお平成30年度は青山福社会設立25周年であったため、関係団体地域の方々の参加のもと、記念式典を開催した。

介護事業運営においては安全安心で利用者を尊重したケアに取り組み重大事故もなく実施することが出来た。

また、法人の理念に則り、社会福祉法人の使命である地域貢献事業を積極的に展開することが出来た。

### 1. 開催した主な会議

#### (1) 理事会

##### <6月12日>

- 第1号議案 平成29年度社会福祉法人青山福社会事業報告について
- 第2号議案 平成29年度社会福祉法人青山福社会歳入歳出決算について
- 第3号議案 平成29年度社会福祉法人青山福社会社会福祉充実残額について
- 第4号議案 社会福祉法人青山福社会再雇用職員就業規則の一部を改正する規則について
- 第5号議案 社会福祉法人青山福社会資金運用規程による資金運用責任者の任命について
- 第6号議案 社会福祉法人青山福社会監事の辞任に伴う補充監事候補者の推薦について
- 第7号議案 社会福祉法人青山福社会設立25周年記念事業について
- 第8号議案 社会福祉法人青山福社会定時評議員会の招集事項を定めることについて

##### <7月11日>

- 第9号議案 社会福祉法人青山福社会評議員の退任に伴う補充評議員候補者の推薦について
- 第10号議案 社会福祉法人青山福社会評議員選任・解任委員会の招集事項を定めることについて

##### <9月28日>

報告事項のみ

##### <12月21日>

- 第11号議案 社会福祉法人青山福社会交際費に要する経費に関する支出基準の一部を改正する基準について
- 第12号議案 社会福祉法人青山福社会健全運営のための経営改善について
- 第13号議案 社会福祉法人青山福社会評議員会の招集事項を定めることについて

##### <3月18日>

- 第14号議案 平成30年度社会福祉法人青山福社会歳入歳出補正予算について
- 第15号議案 平成31年度社会福祉法人青山福社会事業計画について
- 第16号議案 平成31年度社会福祉法人青山福社会歳入歳出予算について
- 第17号議案 社会福祉法人青山福社会定款の一部を改正する定款について
- 第18号議案 社会福祉法人青山福社会経理規程の一部を改正する規程について
- 第19号議案 社会福祉法人青山福社会就業規則の一部を改正する規則について
- 第20号議案 社会福祉法人青山福社会就業規則（非正規常勤職員）の一部を改正する規則について

- 第 2 1 号議案 社会福祉法人青山福社会育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則について
- 第 2 2 号議案 社会福祉法人青山福社会評議員選任・解任委員の選任について
- 第 2 3 号議案 社会福祉法人青山福社会評議員会の招集事項を定めることについて
- 第 2 4 号議案 社会福祉法人青山福社会施設長等その他人事について

## (2) 評議員会

### < 6 月 2 8 日 >

- 第 1 号議案 平成 2 9 年度社会福祉法人青山福社会事業報告について
- 第 2 号議案 平成 2 9 年度社会福祉法人青山福社会歳入歳出決算について
- 第 3 号議案 平成 2 9 年度社会福祉法人青山福社会社会福祉充実残高について
- 第 4 号議案 社会福祉法人青山福社会監事の辞任に伴う補充監事の選任について

### < 1 月 2 2 日 >

- 第 6 号議案 社会福祉法人青山福社会健全運営のための経営改善について

### < 3 月 2 7 日 >

- 第 7 号議案 平成 3 0 年度社会福祉法人青山福社会歳入歳出補正予算について
- 第 8 号議案 平成 3 1 年度社会福祉法人青山福社会事業計画について
- 第 9 号議案 平成 3 1 年度社会福祉法人青山福社会歳入歳出予算について
- 第 1 0 号議案 社会福祉法人青山福社会定款の一部を改正する定款について

## (3) 監事会

### < 6 月 1 日 >

- ・平成 2 9 年度事業状況、歳出歳入決算について

### < 1 1 月 2 7 日 >

- ・平成 3 0 年度上半期事業進捗、経理状況について

## (4) 入所検討委員会

- ・特養森の里 . . . 9 月 2 7 日  
3 月 2 8 日
- ・特養いがの里 . . . 7 月 6 日  
9 月 2 8 日  
1 2 月 2 1 日

## (5) グループホーム運営推進会議

### < 4 月 2 6 日 >

- ・平成 2 9 年度活動報告
- ・利用者状況、行事・活動報告

### < 7 月 7 日 >

- ・利用者状況、行事・活動報告
- ・利用者、家族からの要望・事業所から地域への要望等

### < 8 月 3 1 日 >

- ・利用者状況、行事・活動報告（台風）
- ・事故・ヒヤリハットについて
- ・利用者、家族からの要望・事業所から、地域への要望について

### < 1 1 月 8 日 >

- ・セクハラについての調査結果について
- ・利用者状況、行事・活動報告、事故・ヒヤリハットについて
- ・利用者、家族からの要望・事業所から地域への要望について

### < 1 月 2 4 日 >

- ・利用者状況、行事・活動報告、インフルエンザ等感染予防について
- ・事業規模縮小による運営について（1 ユニット休止）
- ・利用者、家族からの要望・事業所から地域への要望について

<3月28日>

- ・利用者状況、行事・活動報告について
- ・感染予防、事故報告、職員の状況について

(6) 福祉サービス苦情解決に係る第三者委員との意見交換会

<11月7日>

- ・平成29年度事故・苦情状況について

## 2. 実施した主な行事

- (1) チャリティゴルフ大会 …… 5月24日
- (2) 夏祭り
  - ・森の里（特養森の里・木精館・デイ森の里・グループホーム・百々） …… 中止（7月29日）
  - ・いがの里 …… 8月4日
- (3) 敬老祝賀会
  - ・森の里（特養森の里・木精館・グループ森の里） …… 9月8日
  - ・いがの里 …… 9月9日
- (4) 家族会
  - ・森の里（特養森の里・木精館） …… 6月9日
  - ・いがの里 …… 6月17日

## 3. 職員の状況

### (1) 職員数

平成31年3月31日現在の職員数 …… 228人（正規88人 非正規123人 再雇用2人 出向1人 派遣14人）

平成30年3月31日現在の職員数 …… 215人（正規88人 非正規108人 再雇用2人 出向1人 派遣16人）

介護福祉士取得者 71人[うち介護職員 60人]（平成31年3月31日現在）

介護支援専門員取得者 20人（平成31年3月31日現在）

### (2) 過去3年の採用と離職 (人)

区 分	採用者数		離職者数		正規職員 任用
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	
平成30年度	3	19	4	20	1
平成29年度	1	10	4	12	2
平成28年度	1	20	6	16	2

### (3) 職員の研修

#### ①施設外研修（OFF-JT）

全国老施協研究大会、東海北陸ブロック研究大会をはじめ、三重県老施協や三重県社協が開催する各種専門研修など128件に延べ270人の職員を派遣した。

#### ②施設内研修（OJT）

- ・新人研修 …… 4月2日
- ・森の里職員全体研修（特養森の里・木精館・グループホーム・百々） …… 6月4日
- ・いがの里職員全体研修 …… 5月10日
- ・法人全体研修 …… 1月10日

※事故防止、アンガーマネジメント・虐待、人権について研修を実施する。

### (4) ワークライフバランスの推進

- ・育児休業（平成30年度末 3人）

- ・育児のための短時間勤務（平成 30 年度末 6 人）
- ・ノー残業デー 毎月第 3 水曜日と第 4 水曜日に実施
- ・職場内保育施設『森のこども』
  - 平成 30 年度 利用職員 6 人 延べ利用（子ども）175 人（実施日数 51 日）
  - 平成 29 年度 利用職員 7 人 延べ利用（子ども）169 人（実施日数 46 日）
  - 平成 28 年度 利用職員 7 人 延べ利用（子ども）211 人（実施日数 56 日）
- ・くるみんマークの取得更新 みえ働きやすい介護職場取組宣言事業所の名称新規取得

## 特別養護老人ホーム森の里・特別養護老人ホーム木精館

### （１）介護老人福祉施設 「特別養護老人ホーム森の里」

施設サービス計画に基づき、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他の日常生活の世話、機能訓練、健康管理を行い、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように努め、その中でも褥瘡予防に向けた新たな取り組みやケアの質の向上に努めた。また、認知症や虐待に対する理解を深めるための外部研修への参加や内部研修を開催し、日常生活環境の整備として1Fのご利用者の生活スペースにパーテーションを設置し改善を図った。

### （２）介護老人福祉施設「特別養護老人ホーム森の里木精館」

施設サービス計画に基づき、入居前の生活と入居後の生活が連続することに配慮しながら、ユニットの社会的な関係を築き、自律的な日常生活が営めることを目指し、その中でも褥瘡予防に向けた新たな取り組み、ケアの質の向上に努めた。また、特別養護老人ホーム森の里と合同で認知症や虐待に対する理解を深めるための外部研修への参加や内部研修を開催した。

＜森の里・森の里木精館 重点目標＞

- ① その人らしさを尊重した生活支援を行ううえで、ケアの質の向上を目指す
- ② 利用者が安全で心地良く過ごせる生活環境を整える

#### 【利用者の年齢について】

(歳)

	全体			従来型			木精館		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性	全体	男性	女性
平均年齢	86.2	83.4	87.3	83.6	82.5	84.1	88.7	84.6	90.3
最高年齢	101	95	101	101	95	101	101	95	101
最低年齢	67	70	67	70	70	67	74	74	82
逝去された方の平均年齢	89.6	77.5	90.8	88.8	77.5	90.5	91.1	なし	91.1

厚生労働省の平成 29 年度の統計によると日本人の平均寿命は男性 89.01 歳、女性 87.26 歳である。

#### 【在所年数】

	従来型			木精館		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
平均在所年数	2年9ヶ月	2年3ヶ月	3年	3年5ヶ月	3年7ヶ月	3年4ヶ月
最長在所年数	12年	4年8ヶ月	12年	6年9ヶ月	6年9ヶ月	6年9ヶ月
逝去された方の平均在所年数	3年4ヶ月	3年9ヶ月	3年3ヶ月	3年	なし	3年

平成 30 年 3 月 31 現在の平均在所年数及び最長在所年数。

#### 【逝去された方の統計】

(人)

		全体	森の里	病院等
平成 26 年度	従来型	13	9	4
	木精館	11	5	6
	全体	24	14	10

平成 27 年度	従来型	16	13	3
	木精館	12	7	5
	全体	28	20	8
平成 28 年度	従来型	13	10	3
	木精館	10	8	2
	全体	23	18	5
平成 29 年度	従来型	10	9	1
	木精館	10	7	3
	全体	20	16	4
平成 30 年	従来型	15	11	4
	木精館	8	4	4
	全体	23	15	8

### 【平均要介護度】

過去 5 年間の推移

年度	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年度		平成 30 年度	
平均要介護度	従 4.2	木 3.5	従 3.9	木 3.6	従 3.9	木 3.8	従 3.9	木 3.8	従 3.8	木 3.9

### 【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0 人	0 円

平成 30 年度の減免対象者は 人でした。

### 【事故等】

(件)

施設内処理				市へ報告			
ヒヤリハット報告		事故報告		受傷等		死亡	
従 : 467	ユ : 495	従 : 151	ユ : 79	従 : 1	ユ : 3	従 : 0	ユ : 0
962		230		4		0	

※「従」は「従来型」「ユ」は「ユニット型」

### 【利用者の様子】

#### ◆食事

入所者一人当たり月別食事基本カロリー

	平成 30 年度												
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
エネルギー ( kcal )	1618	1631	1621	1621	1600	1668	1630	1660	1614	1648	1623	1625	1630
たんぱく質 ( g )	57.0	56.0	55.2	56.3	54.0	58.9	55.5	56.0	56.0	56.9	57.3	56.1	56.2
塩分量 ( g )	8.4	8.3	8.2	8.1	7.8	8.7	8.2	8.1	8.1	8.2	8.3	8.3	8.2
食物繊維 ( g )	13.5	13.1	13.5	13.7	13.6	13.8	13.4	13.5	13.9	13.6	13.6	13.4	13.6

#### ◆日常生活

(人)

区分	項目	従	ユ	計	H29	区分	項目	従	ユ	計	H29
歩行	自立歩行	0	0	0	3	着脱衣	自分で可能	0	1	1	6
	杖等の歩行補助器具使用	2	3	5	9		一部介助	25	16	41	43
	車いす使用	38	23	61	58		全部介助	25	23	48	39
	リクライニング車いす	10	14	24	18	排泄	トイレ	自分で可能	1	1	2

入浴	自分で可能	0	0	0	0	ポータブル トイレ	一部介助	16	14	20	36
	一部介助	13	7	20	25		全部介助	5	25	30	18
	全部介助	37	33	70	59		自分で可能	0	0	0	4
食事	自分で可能	23	13	36	49	オムツ・パッド等使用	一部介助	5	6	11	7
	一部介助	11	11	22	15		全部介助	0	0	0	10
	全部介助	10	9	19	14		認知症の利用者	14	22	36	63
	経管栄養	6	7	13	11	褥瘡のある利用者	1	0	1	0	
認知症のある利用者		44	35	79	—						

◆体重

区分	-30		31-40		41-50		51-60		61-		合計		最高体重 (kg)		最低体重 (kg)	
	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ	従	ユ
男	0	0	4	0	6	6	4	4	0	1	14	11	54.2	62.5	35.1	41.6
	0		4		12		8		1		25					
女	1	1	11	7	21	14	2	5	1	0	36	26	65.1	52.4	26.9	52.4
	2		18		35		7		1		62					
計	1	1	15	7	27	20	6	9	1	1	50	37				
	2		22		47		15		2		87					

◆慢性疾患

(人)

障害区分	病名	従来型			木精館			合計	H29
		男	女	小計	男	女	小計		
脳血管障害	蜘蛛膜下出血	1	0	1	2	0	2	3	3
	脳出血・脳梗塞	7	15	22	4	8	12	34	37
	脳動脈硬化症	0	0	0	0	0	0	0	0
	パーキンソン病	0	2	2	0	1	1	3	2
	脳血栓	0	2	2	0	0	0	0	2
循環器疾患	高血圧症	6	20	26	5	12	17	43	48
	心不全	0	0	0	0	1	1	1	3
	狭心症・心筋梗塞	1	1	2	0	2	2	4	1
	心房細動	1	0	1	0	1	1	2	2
	閉塞性動脈硬化症	1	0	1	0	0	0	0	2
	貧血	0	1	1	0	3	3	4	5
	高脂血症	1	4	5	0	4	4	9	9
呼吸器疾患	気管支喘息	1	0	1	0	0	0	1	1
	慢性気管支炎・肺気腫	0	0	0	2	0	2	2	5
	肺炎	4	5	9	1	3	4	13	17
消化器疾患	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	0	2	2	0	0	0	2	3
	胃癌	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルニア・イレウス	0	1	1	2	1	3	4	2
	胆石・胆嚢炎	2	3	5	2	3	5	10	12
	大腸癌 手術後	0	0	0	1	1	2	2	3
	慢性胃炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	大腸炎	0	0	0	1	0	1	1	2
	肝疾患	0	2	2	0	0	0	2	1
	逆流性食道炎	1	2	3	0	3	3	6	8
	便秘症	0	3	3	2	3	5	8	28
	膵臓癌	0	0	0	0	0	0	0	0
内分泌代謝性疾患	糖尿病	0	4	4	3	4	7	11	10

骨・関節疾患	骨粗鬆症	0	7	7	0	5	5	12	11
	リュウマチ	0	1	1	0	0	0	1	1
	大腿骨骨折	1	2	3	0	13	13	16	18
	脊椎症	1	5	6	0	2	2	8	8
	膝関節症・腰椎症	0	4	4	0	5	5	9	10
泌尿・生殖器疾患	膀胱炎・腎炎	0	0	0	0	0	0	0	6
	尿路感染症	0	0	0	0	0	0	0	7
	腎不全	0	1	1	0	0	0	1	1
	膀胱癌・水腎症	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎硬化症・腎膿瘍	0	0	0	0	0	0	0	0
	高尿酸血症	0	0	0	0	0	0	0	0
	神経因性膀胱炎	1	2	3	1	0	1	4	4
	前立腺肥大	4	0	4	1	0	1	5	4
眼疾患	白内障	1	1	2	1	2	3	5	5
	緑内障	0	0	0	1	1	2	2	22
皮膚疾患	掻痒症	0	0	0	0	0	0	0	8
	帯状疱疹	0	0	0	0	0	0	0	1
	白癬	4	10	14	9	12	21	35	10
	乾癬症	0	0	0	0	0	0	0	1
	慢性湿疹	0	0	0	0	0	0	0	0
精神疾患	老人性認知症	1	7	8	4	11	15	23	24
	鬱病	0	2	2	0	2	2	4	3
	アルツハイマー	0	6	6	1	6	7	13	17
	精神発達遅滞	0	0	0	0	0	0	0	11
婦人科疾患	子宮癌	0	0	0	0	0	0	0	0
	子宮筋腫	0	1	1	0	0	0	1	1
耳鼻科	メニエル症候群	0	0	0	0	1	1	1	2

◆機能訓練

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H29
体操	32	38	53	31	73	40	28	47	45	44	34	7	472	450
歌を歌う	0	33	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	41	331
音読	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	315
折り紙	0	0	0	3	0	0	0	0	4	0	0	0	7	193
運動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93
ハンドベル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
学習	0	14	0	9	0	10	7	0	8	0	0	0	48	54
カラオケ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
ビデオ上映	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	183
園芸クラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
手芸クラブ	0	5	5	5	5	5	5	0	0	0	4	0	34	28
歩行 訓練	老人車	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	20
	歩行器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
	平行棒	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	22
立位訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
足上げ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
上肢運動	11	26	27	30	31	30	39	29	31	32	27	25	338	0

【待機者の状況】

(人)



	男	女	合計
旧青山町	6 (4)	27 (9)	33 (13)
他伊賀市内	4 (1)	5 (3)	9 (4)
その他の地域	2 (2)	5 (3)	7 (5)
合計	12 (7)	37 (15)	49 (22)

平成 31 年 3 月 31 日現在の数字である。( ) 内の数字は入所判定基準で当法人が入所相当と認める 80 点以上の待機者の数。

### 【主な行事】

月	全 体 行 事
6 月	家族会
9 月	敬老会
11 月	お祭り
12 月	お餅つき、門松づくり
1 月	正月獅子舞

## (3) 短期入所生活介護事業所 「森の里」

利用者が可能な限り、自宅において自身の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができることを目的に、入浴、排泄、食事等の介護、その他の日常生活の世話及び機能訓練を行い、心身の機能の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減（レスパイトケア）を図った。また、デイサービスのご利用者との交流を図るため 2 階から 1 階へフロアの変更を行った。

### <重点目標>

- ① その人らしさを尊重した生活支援を行ううえで、ケアの質の向上を目指す
- ② 利用者が安全で心地良く過ごせる生活環境を整える

### 【利用者数】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
延べ人数	52 人	267 人	679 人	1577 人	982 人	830 人	468 人
1 人あたりの利用日数	4.7 日	10.2 日	6.7 日	11.5 日	11.0 日	11.5 日	15.6 日

### 【平均要介護度】

過去 5 年間の推移

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平均要介護度	3.2	2.8	2.4	2.5	2.5

### 【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0 人	0 円

平成 30 年度の減免対象者は 0 人でした。

### 【主な行事】 ※特養森の里と同じ

## 認知症対応型共同生活介護事業所 「グループホーム森の里」

家庭的な環境の下で、入浴・排泄・食事等の介護、その他日常生活上の世話及び機能訓練を行い、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援するとともに、看取りケアの実施や栄養マネジメントの実施し、ケアの専門性及び質の向上に努めた。

### <重点目標>

- ①利用者の満足度アップを図る。
- ②利用者の安心、安全に生活できる環境づくりを進める。
- ③ケアの専門性を確立する。

**【利用者の年齢について】** (歳)

	全体	男性	女性
平均年齢	88.8	90	88.6
最高年齢	99	95	99
最低年齢	78	81	78

厚生労働省の平成 29 年度の統計によると日本人の平均寿命は男性 89.01 歳、女性 87.26 歳である。

**【在所年数】**

	全体	男性	女性
平均在所年数	3年7ヵ月	3年6ヵ月	3年8ヵ月
最長在所年数	14年7ヵ月	6年3ヵ月	14年7ヵ月
退所された方の平均在所年数	3年3ヵ月	4年2ヵ月	2年8ヵ月

**【退所された方の統計】** (人)

	全体	特養へ	その他
平成 26 年度	2	2	0
平成 27 年度	5	2	3
平成 28 年度	9	3	6
平成 29 年度	5	3	2
平成 30 年度	16	13	3

**【平均要介護度】**

過去 5 年間の推移

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平均要介護度	2.0	2.0	1.8	2.0	2.5

**【事故等】** (件)

施設内処理		市へ報告	
ヒヤリハット報告	事故扱い	受傷等	死亡
193	71	7	0

**【社福減免】**

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0人	0円

平成 30 年度の減免対象者は 0 人でした。

**【日常生活】** (人)

区分	項目	計	H29	区分	項目	計	H29	
歩行	自立歩行	5	9	着脱衣	自分で可能	6	10	
	杖等の歩行補助器具使用	26	13		一部介助	17	14	
	車いす使用	12	5		全部介助	11	3	
	リクライニング車いす	1	0	排泄	トイレ	自分で可能	5	9
入浴	自分で可能	0	1			一部介助	21	14
	一部介助	26	22			全部介助	8	4
	全部介助	8	4		ポータブル	自分で可能	0	0

食事	自分で可能	32	25	トイレ	一部介助	14	0
	一部介助	1	2		全部介助	4	0
	全部介助	1	0	オムツ使用		5	2
	経管栄養	0	0				

【待機者の状況】 (人)

	男	女	合計
旧青山町	5	6	11
他伊賀市内	3	3	6
その他の地域	0	0	0
合計	8	9	17

平成 31 年 3 月 31 日現在の数字である。

【主な行事】

全 体 行 事	
4 月	花見会
5 月	外食会
6 月	音楽療法、蛍観賞
7 月	七夕祭り、地区夏祭り、納涼祭
8 月	喫茶
10 月	家族会、音楽療法、夜間災訓練
11 月	青山文化展出品・見学、音楽療法
12 月	クリスマス会
1 月	初詣
2 月	節分、バレンタインデー
3 月	雛祭り、昼間防災訓練

通所介護事業所 「デイサービスセンターあおやま森の里」

可能な限り居宅において、能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活の世話及び機能訓練を行い、『社会的孤立感の解消』および心身の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減（レスパイトケア）に努め、重点目標である心身機能の維持、向上を図るため、筋力トレーニングを強化し機能訓練の充実、また、マッサージ師による機能訓練とリラクゼーションの提供を実施した。

＜重点目標＞

- ①ご利用者の自立支援及び重度化防止に努める。
- ②チームワークの連携強化を図る。

【利用者の年齢について】 (歳)

	全体	男性	女性
平均年齢	89.0	84.8	90.1
最高年齢	99	94	99
最低年齢	75	78	75

【平均要介護度】

過去 5 年間の推移

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平均要介護度	2.0	2.1	2.0	1.7	1.4

【事故等】 (件)

施設内処理		行政（市）報告	
ヒヤリハット報告	事故	受傷等	死亡
10	9	0	0

### 【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0人	0円

平成30年度の減免対象者は0人でした。

### 【日常生活】

(人)

区分	項目	計	H29	区分	項目	計	H29	
歩行	自立歩行	11	11	着脱衣	自分で可能	26	28	
	杖等の歩行補助器具使用	43	39		一部介助	26	26	
	車いす使用	6	10		全部介助	5	6	
	リクライニング車いす	0	0	排泄	トイレ	自分で可能	27	32
入浴	自分で可能	1	3			一部介助	27	8
	一部介助	50	48			全部介助	6	8
	全部介助	6	8		ポータブルトイレ	自分で可能	0	0
食事	自分で可能	57	53			一部介助	0	0
	一部介助	2	7			全部介助	0	0
	全部介助	1	0		オムツ使用	0	0	
	経管栄養	0	0					

### 【主な行事】

月	全体行事
4月	お花見（野外昼食会）
5月	ゲートボール大会
6月	釣り堀
7月	七夕
8月	ボウリング大会
9月	敬老会
10月	運動会 秋の味覚祭
11月	文化展出展 おやつ作り
12月	クリスマス会 忘年会
1月	新年会 お正月遊び
2月	節分
3月	ひな祭り

## 通所介護事業所 「デイサービスセンターあおやま百々」

可能な限り居宅において、能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活の世話及び機能訓練を行い、『社会的孤立感の解消』および心身の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減（レスパイトケア）に努め、その方の目的に沿った個別機能訓練による自立支援に取り組んできた。また、防災に供え、独自で非常災害時の訓練を実施した。

#### <重点目標>

- ①報告・連絡・相談の徹底による情報提供と、利用者個々に合ったケアの充実を図る。
- ②非常事態時の対応に備える。

### 【年齢について】

(歳)

	全体	男性	女性
平均年齢	87.5	82.6	89.3
最高年齢	98	98	97
最低年齢	63	75	63

### 【平均要介護度】

過去5年間の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平均要介護度	2.6	2.4	2.5	1.7	1.5

### 【事故等】

(件)

施設内処理		市へ報告	
ヒヤリハット報告	事故報告	受傷等	死亡
36	11	1	0

### 【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0人	0円

平成30年度の減免対象者は0人でした。

### 【日常生活】

(人)

区分	項目	計	H29	区分	項目	計	H29	
歩行	自立歩行	17	19	着脱衣	自分で可能	9	23	
	杖等の歩行補助器具使用	46	43		一部介助	58	37	
	車いす使用	18	30		全部介助	9	32	
	リクライニング車いす	1	0	排泄	トイレ	自分で可能	46	39
入浴	自分で可能	9	19			一部介助	27	63
	一部介助	58	26			全部介助	5	0
	全部介助	9	41		ポータブル トイレ	自分で可能	0	0
食事	自分で可能	78	83			一部介助	0	0
	一部介助	2	7			全部介助	0	0
	全部介助	2	2		オムツ使用	4	4	
	経管栄養	0	0					

### 【主な行事】

月	全体行事
4月	お花見ドライブ
6月	おやつ作り
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	敬老祝賀会
10月	運動会
11月	紅葉ドライブ
12月	クリスマスビンゴ大会、おやつ作り
1月	新年祝賀会
2月	節分
3月	ひなまつり

## 居宅介護支援事業所 「あおやま」

要介護状態になっても、その利用者が可能な限りその居宅において自身の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援に努め、また、週1回の事業所内会議を開催し、処遇困難ケースの検討や活用できる社会資源の情報共有、ケアマネジメントに関する技術の共有を図った。また、平成30年度より他事業所との事例検討会を開催し職員の資質向上に努め、ご利用者の病院入退院時には医療との連携強化にも努めてきた。

事業所の延べ利用者数1365人中、要介護1、2の利用者が838人、要介護3以上の中重度要介護者が527人であり、医療連携として入院時情報提供29人、退院調整のためのカンファレンスは26人となった。

### <重点目標>

- ① 医療と介護の連携強化を図る。
- ② 資質向上のための研修強化を図る。

### 【活動範囲】

地区	阿保	別府	寺脇	岡田	柏尾	羽根	伊勢路	下川原	北山	妙楽地	勝地	瀧
人数	215	21	0	55	14	32	12	31	12	9	76	46
割合(%)	15.8	1.5	0	4	1	2.3	0.9	2.3	0.9	0.7	5.6	3.4
地区	種生	高尾	老川	霧生	腰山	諸木	福川	川上	奥鹿野	桐ヶ丘	その他	合計
人数	87	134	12	136	119	12	24	0	0	156	162	1365
割合(%)	6.4	9.8	0.9	10	8.7	0.9	1.8	0	0	11.4	11.9	100

1年間の延べ利用者数の合計に対する各地域の延べ利用者数の割合。居宅介護支援事業所あおやまの通常事業実施地域は伊賀市、名張市であるが住所を移さず伊賀市に住む子の元でサービスを利用したり、名張市のサ高住でサービスを受ける利用者がその他の活動範囲となっている。

### 【平均要介護度】

過去5年間の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平均要介護度	2.1	2.1	2.1	2.3	2.2

### 【活動内容】

伊賀市より介護予防ケアマネジメント業務委託を受け126件実施した。

民生委員との交流会（毎月第3日曜日）や地域ケア会議（年3回）を通して事例検討会を行った。

また、地域支援事業の一環として月2回（火曜日）、もりの喫茶店を地域住民にも開放し、法人施設の利用者と地域住民の交流の場を設けたり、月に1度、地域のサロン活動の支援を行った。

### 【介護予防教室】

転倒予防のための体操教室を1回行った。

月 日	場 所	地 区	参加人数
6月18日	腰山市民センター	腰山	15人

### 【主な行事】

月	業務・研修
4月	事例検討会
9月	他事業所との交流会
1月	他事業所との交流会
3月	ケアプランチェック

## 特別養護老人ホームいがの里

施設サービス計画に基づき、入居前の生活と入居後の生活が連続したものとなるように配慮しながら、ユニットの社会的な関係を築き、自律的な日常生活を営むことができるように努め、下記のとおり重点目標に取り組んだ。

### <重点目標及び成果>

- ①ユニットリーダーのマネジメント力強化を図る。
- ②事故の軽減を目指す。
- ③ケアの専門性を追及する。
- ④ユニットリーダー研修実習施設指定を獲得する。
- ⑤施設知名度のアップを目指す。
  - ・事業計画で示した「ユニットリーダーのマネジメント力強化」のため、施設の重要事項決定機関にユニットリーダーを出席させ、施設の情報や状況を理解の上、自分の管理するユニットの職員に徹底した。
  - ・事故の低減を掲げ、表皮剥離・内出血の低減につとめた。骨折はゼロを掲げたが、転倒による骨折が2件発生した。また、窒息による死亡事故が1件発生した。
  - ・介護人材の不足に伴い、未経験の職員が増えた。介護基本動作安定を図るために、看護職員の指導のもと、介護動作を確実にこなせるように、こまめに指導した。
  - ・代表者会議で事故防止・身体拘束防止・苦情対策を検討、及び、事故・身体拘束・苦情への意識や知識の向上を組織的に行えるように研修会も行った。
  - ・ケアの専門性の追求として、特定の利用者を事例として認知症ケアに関する委員会でカンファレンスを行い、実際のケアに導入した。また、ユニットリーダー研修への派遣し、有資格者の要請とともに知識の拡大をおこなった。
  - ・ユニットリーダー研修実地施設指定については、ケア内容に充実を再度図ったうえで、申請を行うこととし、今年度は見送った。
  - ・施設の知名度アップを図るため、民生委員の総会の会場として地域交流スペースを利用し、と交流会を実施する。
  - ・地域の方や学生に対して、職業としての介護の魅力を発信するために、広報誌を作成し、月に1回いがまちに新聞折り込みをした。

## (1) 介護老人福祉施設 「特別養護老人ホームいがの里」

### 【利用者の年齢について】 (歳)

	全体	男性	女性
平均年齢	89.2	85.3	90.0
最高年齢	101.0	98.0	101.0
最低年齢	69.0	69.0	77.0
逝去された方の平均年齢	87.6	91.0	87.2

厚生労働省の平成29年度の統計によると日本人の平均寿命は男性89.01歳、女性87.26歳である。

### 【在所年数】

	全体	男性	女性
平均在所年数	3年4ヶ月	3年6ヶ月	2年9ヶ月
最長在所年数	14年	6年9ヶ月	14年
逝去された方の在所年数	2年3ヶ月	6ヶ月	2年6ヶ月

### 【逝去された方の統計】 (人)

	全体	いがの里	病院等
平成28年	18	9	9
平成29年	15	11	4
平成30年	10	3	7

## 【平均要介護度】

過去5年の推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成要介護度	3.6	3.7	3.5	3.4	3.6

## 【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	2人	763,525円
名張市	1人	45,676円
合計	3人	809,201円

平成30年度は、減免対象者は3名だった。

## 【事故等】

(件)

施設内処理		事故報告	
ヒヤリハット報告	事故報告	受傷等	死亡
357	207	3	1

## 【利用者の様子】

### ◆食事

入所者一人当たり月別食事基本カロリー

(kcal)

平成30年度												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1669	1652	1655	1650	1550	1560	1641	1634	1650	1647	1638	1637	1632

### ◆日常生活

(人)

区分	項目	計	H29	区分	項目	計	H29	
歩行	自立歩行	1	1	着脱衣	自分で可能	0	8	
	杖等の歩行補助器具使用	0	2		一部介助	8	23	
	車椅子使用	37	41		全面介助	58	26	
	歩行不能		13	排泄	トイレ	自分で可能	0	3
入浴	自分で可能	0	0			一部介助	20	28
	一部介助	11	33			全面介助	5	0
	全面介助	48	24		ポータブルトイレ	自分で可能	0	4
食事	自分で可能	10	33			一部介助	0	2
	一部介助	38	9			全面介助	0	0
	全面介助	7	9		オムツ使用	32	26	
	経管栄養	4	6		尿器使用	1	0	
認知症のある利用者		57	47		褥瘡のある利用者		2	6

### ◆体重

区分	-30	31-40	41-50	51-60	61-	合計	最高体重	最低体重
男	0名	2名	3名	6名	0名	0名	67.2kg	37.4kg
女	6名	22名	17名	4名	0名	0名	54.7kg	25.3kg
合計	6名	24名	20名	10名	0名	3名		

### ◆慢性疾患

(人)

障害区分	病名	男	女	合計	H29



脳血管障害	蜘蛛膜下出血	0	2	2	2
	脳出血・脳梗塞	4	8	12	16
	脳動脈硬化症	0	0	0	0
	パーキンソン病	2	5	7	6
	脳血栓	0	1	1	1
循環器疾患	高血圧症	6	36	42	30
	心不全	3	12	15	12
	狭心症・心筋梗塞	0	3	3	4
	心房細動	1	4	5	8
	閉塞性動脈硬化症	1	6	7	0
	貧血	2	7	9	5
	三尖弁閉塞不全症	0	0	0	0
呼吸器疾患	気管支喘息	1	6	7	1
	慢性気管支炎・肺気腫	2	3	5	1
	肺炎	2	15	17	21
消化器疾患	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	1	1	2	2
	胃癌	0	3	3	3
	ヘルニア・イレウス	1	1	2	3
	胆石・胆嚢炎	0	5	5	2
	大腸癌 手術後	1	1	2	1
	慢性胃炎	0	1	1	1
	大腸炎	0	1	1	1
	肝疾患	2	3	5	4
	逆流性食道炎	2	22	24	7
	便秘症	9	41	50	32
	膵臓癌	0	0	0	0
内分泌代謝性疾患	糖尿病	4	8	12	9
骨・関節疾患	骨粗鬆症	1	10	11	8
	リュウマチ	0	1	1	1
	大腿骨骨折	2	17	19	17
	脊椎症	2	7	9	9
	膝関節症・腰椎症	2	15	17	14
泌尿・生殖器疾患	膀胱炎・腎炎	1	4	5	7
	尿路感染症	2	14	16	18
	腎不全	1	2	3	4
	膀胱癌・水腎症	0	1	1	3
	腎硬化症・腎膿瘍	0	0	0	0
	高尿酸血症	0	0	0	0
	神経因性膀胱炎	1	7	8	5
	前立腺肥大	0	3	3	1
眼疾患	白内障	2	10	12	11
	緑内障	2	3	5	3
皮膚疾患	掻痒症	3	6	9	5
	帯状疱疹	0	5	5	4
	白癬	5	19	24	17
	乾癬症	0	0	0	0
	慢性湿疹	1	0	1	1
精神疾患	老人性認知症	3	21	24	29
	鬱病	0	6	6	8

	アルツハイマー	2	11	13	10
	精神発達遅滞	0	0	0	0
婦人科疾患	子宮癌	0	0	0	0
	子宮筋腫	0	2	2	3
	子宮後屈	0	0	0	0
耳鼻科	メニエル症候群	0	1	1	0

### 【機能訓練】

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H29
マイクロ	24	24	24	23	23	22	23	22	20	20	20	22	267	323
ホットパック	2	2	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	16	17
マッサージ	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	12
平行棒内歩行	17	17	15	15	15	15	17	17	17	17	17	17	196	237
歩行訓練	手引き歩行	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
	段差昇降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歩行器歩行	11	11	10	10	7	7	7	6	6	7	7	7	96
立位保持訓練	3	3	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	21	6
座位保持訓練	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	7	10
関節可動域訓練	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	119	138
移乗訓練	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	7	67
バイク（筋トレ）	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	92	102
対人ボール投げ	30	31	18	18	18	19	19	21	21	23	25	28	271	338
歌レク （嚙下体操）	35	35	30	30	30	30	32	32	32	33	33	33	385	320
パズル（作業療法）	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	104	65

### 【待機者の状況】

(人)

	男	女	合計
いがまち	4(3)	5(2)	9(5)
他伊賀市内	0	13(4)	13(4)
その他の地域	2(1)	1(1)	3(2)
合計	6(4)	19(7)	23(11)

平成 31 年 3 月 31 日現在の数字である。( ) 内の数字は入所判定基準で当法人が入所相当と認める 80 点以上の待機者の数。

※このほか、要介護 1 及び要介護 2 の方の申込みは 6 件仮受付をしているが、いずれも特例入所には該当せず。

### 【主な行事】

月	全 体 行 事
6 月	家族会
8 月	夏祭り
9 月	敬老会
10 月	運動会
12 月	クリスマス会
1 月	新年会

## (2) 短期入所生活介護事業所 「いがの里」

### 【利用者数】

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
実人数	0 人	0 人	48 人	121 人	72 人	42 人	22 人
延べ人数	0 人	0 人	376 人	1019 人	695 人	556 人	132 人
1人あたりの利用日数	0 日	0 日	7.8 日	8.4 日	9.6 日	13.2 日	6.0 日

### 【平均要介護度】

過去5年間の推移

年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
平成要介護度	2.9	2.8	2.7	3.3	2.6

### 【社福減免】

保険者名	実人数	軽減額
伊賀市	0 人	0 円

平成 30 年度の減免対象者は 0 人でした。

【主な行事】 ※特養いがの里と同様

## 地域支援事業

社会福祉法人は社会福祉事業を主たる事業とする非営利法人であり、制度や市場原理では満たされないニーズについても率先して対応する取り組みが求められている現状に鑑み、様々な社会生活上の困難を抱える方々に対して、日常生活の支援を含む次のサービスを提供した。

<重点目標>

- ①地域高齢者の生きがいつくり支援活動を実施する。
- ②買い物無料バスの運行する。
- ③その他、地域ネットワークへの参加、困りごと電話相談などを行う。

(1) 社会福祉協議会と連携し、地域で開催される介護予防教室開催等への講師派遣

- ①森の里 … 1 回
- ②いがの里 … 3 回

(2) もりの喫茶店開催

特別養護老人ホーム森の里木精館 1F の地域交流室において、地域ボランティアの支援を受け月 2 回第 2 火曜日に開催し、地域住民の方や入居者の憩いの場所となっている。年間 367 人利用。

(3) 種生おしゃべりサロン

気楽にあつまりおしゃべりを楽しむことを目的に平成 30 年 2 月から月に 1 回、第 2 木曜日に開催し平成 30 年度は 133 人の参加者であった。

(4) お買い物バスの運営

平成 30 年度実績 延活動日数 483 日 延利用者数 3,022 人 平均利用者数 6.3 人

(5) ほほえみの集いの送迎支援

春のほほえみのつどい実行委員会（事務局：青山ボランティア連絡会）主催で、一人暮らしの高齢者同士、世代間の交流会を開催しており、青山福祉会として送迎の支援を行った。